

(2002/07/12)

増設メモリ

増設メモリ

1.概要

型名	製品名
N8102-130	128MB 増設メモリボード
N8102-131	256MB 増設メモリボード
N8102-132	512MB 増設メモリボード
N8102-137	1GB 増設メモリボード
N8102-150	128MB 増設メモリボード
N8102-151	256MB 増設メモリボード
N8102-152	512MB 増設メモリボード
N8102-138	256MB 増設メモリボード
N8102-139	512MB 増設メモリボード
N8102-140	1GB 増設メモリボード
N8102-141	2GB 増設メモリボード
N8102-118	256MB 増設メモリボード
N8102-119	512MB 増設メモリボード
N8102-120	1GB 増設メモリボード
N8102-121	2GB 増設メモリボード
N8102-133	256MB 増設メモリボード
N8102-134	512MB 増設メモリボード
N8102-135	1GB 増設メモリボード
N8102-136	2GB 増設メモリボード
N8102-154	256MB 増設メモリボード
N8102-155	512MB 増設メモリボード
N8102-156	1GB 増設メモリボード
N8102-157	2GB 増設メモリボード
N8102-124	512MB 増設メモリボード
N8102-125	1GB 増設メモリボード
N8102-126	2GB 増設メモリボード
N8102-127	4GB 増設メモリボード
N8102-143	1GB 増設メモリボード
N8102-144	2GB 増設メモリボード
N8102-145	4GB 増設メモリボード

2.機能仕様

	N8102-130	N8102-131	N8102-132	N8102-137
容量	128MB	256MB	512MB	1GB
仕様	SDRAM-DIMM			
動作クロック	100/133MHz			
駆動電圧	3.3V			
バッファ	有			
増設単位	1 枚セット			

	N8102-150	N8102-151	N8102-152
容量	128MB	256MB	512MB
仕様	SDRAM-DIMM		
動作クロック	100/133MHz		
駆動電圧	3.3V		
バッファ	無		
増設単位	1 枚セット		

	N8102-138	N8102-139	N8102-140	N8102-141
容量	256MB	512MB	1GB	2GB
仕様	SDRAM-DIMM			
動作クロック	100/133MHz			
駆動電圧	3.3V			
バッファ	有			
増設単位	2 枚セット			

	N8102-118	N8102-119	N8102-120	N8102-121
容量	256MB	512MB	1GB	2GB
仕様	DDR200(PC1600) SDRAM-DIMM			
動作クロック	200MHz			
駆動電圧	2.5V			
バッファ	有			
増設単位	2 枚セット			

	N8102-133	N8102-134	N8102-135	N8102-136
容量	256MB	512MB	1GB	2GB
仕様	SDRAM-DIMM			
動作クロック	100/133MHz			
駆動電圧	3.3V			
バッファ	有			
増設単位	2 枚セット			

	N8102-154	N8102-155	N8102-156	N8102-157
容量	256MB	512MB	1GB	2GB
仕様	DDR200(PC1600) SDRAM-DIMM,LowProfile			
動作クロック	200MHz			
駆動電圧	2.5V			
バッファ	有			
増設単位	2 枚セット			

	N8102-124	N8102-125	N8102-126	N8102-127
容量	512MB	1GB	2GB	4GB
仕様	DDR200(PC1600) SDRAM-DIMM			
動作クロック	200MHz			
駆動電圧	2.5V			
バッファ	有			
増設単位	4 枚セット			

	N8102-143	N8102-144	N8102-145
容量	1GB	2GB	4GB
仕様	SDRAM-DIMM		
動作クロック	133MHz		
駆動電圧	3.3V		
バッファ	有		
増設単位	4 枚セット		

■ SDRAM(Synchronous Dynamic Random Access Memory)

従来のDRAMと比べて内部は基本的に同じであるが、外部バスインターフェイスが一定周期のクロック信号に同期して動作するように改良されたDRAM。

Pentium,Pentium II, Pentium , Pentium Xeon,Pentium 4,XeonなどのCPUも、その外部バスはクロックに同期して動くため、CPUとSDRAMのクロックを共通にすればアクセス時のロスを少なくできる。

SDRAMで高速化できるのは、1クロック毎にデータを転送するバーストモードである。従来のDRAMを利用する場合、Pentium,Pentium II ,Pentium , Pentium Xeon,Pentium 4,Xeonではバーストモード時にウェイトを挿入しなければならない事が多いが、シンクロナスDRAMを用いればノーウェイトでCPUのバーストモードに追従できる。ただし、バーストモードの最初のアクセスは速くならない。

■ DDR SDRAM(Double Data Rate Synchronous Dynamic Random Access Memory)

SDRAMを改良して、外部クロックの2倍の周期でデータをやり取りできるようにしたSDRAM。

SDRAMがクロックの立ち上がりのみを利用するのに対し、立ち上がりと立ち下りの両方を利用し、同じクロックで2倍のデータ転送を実現する。

3.注意事項

- ・ Express5800 シリーズ用に販売されている他社製メモリは動作保証の範囲外となるため、Express5800 純正品のメモリを使用すること。